思春期の女子が裸祭りで男子の前で全裸になることの心理的・社会的影響

調査者：鈴木遥香（○○大学教育学部4年）

調査期間：20XX年6月15日～7月20日

調査手段：男女の当事者に対し、取材およびインタビューを実施。

調査目的：村の伝統行事「裸祭り」で思春期の女の子が全裸で練り歩くことと、男子の女子の裸体の見物行為が、それぞれに与える影響を分析する。

1. 事件の概要

本調査の対象は、某離島で毎年夏に開催される裸祭りである。参加するのは主に思春期の女子で、神社から海辺までの道のりを全裸で練り歩く風習が特徴である。

女子は裸体を隠さないという暗黙のルールに従い素っ裸で練り歩き、主に男性の観覧者が見守る。祭りの目的は豊漁祈願とされるが、参加者の強い羞恥心問題が顕在化している。

本レポートは、参加者へのインタビューや島民への取材に基づく。